

# Enterprise Vault™

## Mac OS X ユーザーガイド

12.3

# Enterprise Vault™: Mac OS X ユーザーガイド

最終更新日: 2018-02-08。

## 法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、Enterprise Vault、Compliance Accelerator、Discovery Accelerator は、Veritas Technologies LLC または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、Veritas 社がサードパーティへの帰属を示す必要があるサードパーティソフトウェア (「サードパーティプログラム」) が含まれる場合があります。一部のサードパーティプログラムはオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスの下で利用できます。ソフトウェアに付属している使用許諾契約は、それらのオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスで規定されている権利または義務を変更するものではありません。この Veritas 製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバース・エンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

文書は「現状有姿のまま」提供され、市販性、特定目的との適合性または権利を侵害していないことを含むすべての明示または黙示の条件、表明および保証は、そのような免責が法的に無効であるとされた場合を除き、免責されます。VERITAS TECHNOLOGIES LLC は本書の供給、実行、または使用に関連した付随的、間接的な損害に対する責任を負わないものとします。本書に含まれる情報は、事前の通知なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR セクション 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により、Veritas がオンプレミスとして提供したか、ホストサービスとして提供したかにかかわらず、制限された権利の対象となります。米国政府による本ソフトウェアの使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC  
500 E Middlefield Road  
Mountain View, CA 94043

<https://www.veritas.com>

# 目次

第 1 章	Veritas Enterprise Vault の概要 .....	4
	Enterprise Vault について .....	4
	Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントの必須ソフトウェア .....	5
	Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのインストール .....	5
	アーカイブ済みアイテムへのショートカットについて .....	6
	Enterprise Vault のツールバーとメニューコマンドについて .....	7
	Enterprise Vault でアーカイブするアイテムを選択する方法 .....	9
	アーカイブ済みアイテムの保持について .....	9
	Enterprise Vault のログイン詳細の入力 .....	10
	Enterprise Vault ログインパスワードの表示と修正 .....	11
	Outlook for Mac で類似フォルダをグループ化した場合に Enterprise Vault クライアントの動作に与える影響 .....	12
第 2 章	Veritas Enterprise Vault の使用 .....	14
	もとの形式でのアーカイブ済みアイテムの表示 .....	14
	アーカイブ済みアイテムへの返信またはアーカイブ済みアイテムの転送 .....	15
	アイテムとフォルダの手動アーカイブについて .....	16
	ショートカットからのアーカイブ済みアイテムの復元 .....	16
	アーカイブ済みアイテムの削除 .....	16
	アーカイブ済みアイテムの検索 .....	17
	Enterprise Vault のカスタマイズ .....	17
	メールボックスルールを設定した Enterprise Vault ショートカットの管理 .....	19
	Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのアンインストール .....	20

# Veritas Enterprise Vault の概要

この章では以下の項目について説明しています。

- [Enterprise Vault](#) について
- [Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントの必須ソフトウェア](#)
- [Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのインストール](#)
- [アーカイブ済みアイテムへのショートカットについて](#)
- [Enterprise Vault](#) のツールバーとメニューコマンドについて
- [Enterprise Vault](#) でアーカイブするアイテムを選択する方法
- [アーカイブ済みアイテムの保持について](#)
- [Enterprise Vault](#) のログイン詳細の入力
- [Enterprise Vault](#) ログインパスワードの表示と修正
- [Outlook for Mac](#) で類似フォルダをグループ化した場合に [Enterprise Vault](#) クライアントの動作に与える影響

## Enterprise Vault について

**Enterprise Vault** は、メールボックスのすべてのフォルダの内容をボルトという特別なストレージ領域にアーカイブします。**Enterprise Vault** はアーカイブを自動的に実行します。通常はオフピーク時にアーカイブします。アイテムは手動でアーカイブすることもできます。

通常管理者は、各アーカイブ済みアイテムのショートカットをメールボックスに作成するように **Enterprise Vault** を設定しています。ショートカットをクリックしたり **Enterprise Vault**

ツールバーボタンやメニューコマンドをクリックしてアーカイブ済みアイテムにアクセスできます。

## Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントの必須ソフトウェア

Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントは、次の必要条件を満たすコンピュータにインストールできます。

- Mac OS X バージョン 10.9 (Mavericks) 以降
- Outlook for Mac の次のいずれかのバージョン:
  - Outlook for Mac 2011 バージョン 14.0.0 以降
  - Outlook for Mac 2016 バージョン 15.8.1 以降
- Safari バージョン 7.0 以降

サポートされているソフトウェアのバージョンの最新情報については、Enterprise Vault [Compatibility Charts](#) を参照してください。

## Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのインストール

Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのインストールパッケージは、通常の方法で実行できる標準のディスクイメージ(.dmg)ファイルです。

## Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントをインストールする方法

- 1 実行中のアプリケーションがあれば、インストールに干渉する可能性があるため、すべて終了します。
- 2 付属の VeritasEnterpriseVaultClient をダブルクリックします。version.dmg ファイルをダブルクリックします。

[Veritas Enterprise Vault クライアント]ウィンドウが表示されます。



- 3 Veritas Enterprise Vault Client.mpkg をダブルクリックしてインストールを開始します。
- 4 画面の指示に従います。

インストールパッケージは、インストールを完了するためにパッケージを中止して再び開くように求めるメッセージを表示します。これは正常な動作です。

## アーカイブ済みアイテムへのショートカットについて

Enterprise Vault では、アイテムをアーカイブするときに、通常はアイテムへのショートカットがメールボックスに残されます。このショートカットは、ボルト内のアーカイブ済みアイテムへの直接リンクです。

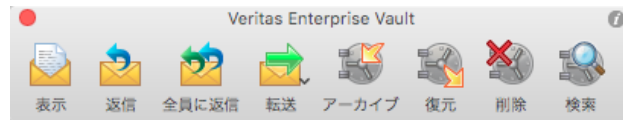
アーカイブ済みアイテムは、メールボックス内のその他のアイテムと同じように見えます。たとえば、アイテムが電子メールメッセージである場合は、電子メールクライアントには元のメッセージのタイトル、受信日、作成者がすべて表示されます。

Enterprise Vault のツールバーボタンとメニューコマンドをクリックすることで、ボルト内のアイテムで作業できます。Enterprise Vault がまだアーカイブしていないアイテムを手動でアーカイブすることもできます。

## Enterprise Vault のツールバーとメニューコマンドについて

デフォルトでは、Enterprise Vault クライアントをインストールした後、電子メールクライアントを起動すると Enterprise Vault ツールバーが表示されます。このツールバーは、アーカイブにアイテムを格納したり、アイテムを復元したり、別の方法でアーカイブを処理したりできる機能を提供します。

図 1-1 Enterprise Vault ツールバー



次のボタンは、管理者の設定内容によっては Enterprise Vault ツールバーで利用できる場合があります。同様の機能を Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで利用できる場合もあります。

表 1-1 Enterprise Vault のツールバーボタンとメニューコマンド

ツールバーボタン	メニューコマンド	説明
—	[表示][非表示]ツールバー	Enterprise Vault のツールバーのオンとオフを切り替えます。
	表示	ボルトから選択アイテムをダウンロードし、もとの形式で開きます。 <a href="#">p. 14 の「もとの形式でのアーカイブ済みアイテムの表示」</a> を参照してください。
	返信	選択アイテムの送信者に返信できます。 <a href="#">p. 15 の「アーカイブ済みアイテムへの返信またはアーカイブ済みアイテムの転送」</a> を参照してください。
	全員に返信	選択アイテムの送信者とすべての受信者に返信できます。

ツールバーボタン	メニューコマンド	説明
	転送	選択アイテムを 1 人以上の受信者に転送できます。転送アイテムには元のアイテムとともに受信した添付ファイルが含まれます。
—	添付ファイルとして転送	選択アイテムを添付ファイルとする新しい電子メールメッセージを作成できます。
	ボルトに格納	Enterprise Vault が次回メールボックスでアーカイブ操作を行うときに、選択アイテムをアーカイブします。 <a href="#">p.16 の「アイテムとフォルダの手動アーカイブについて」</a> を参照してください。
	ボルトから復元	選択した Enterprise Vault ショートカットに関連付けられているアイテムを復元します。 <a href="#">p.16 の「ショートカットからのアーカイブ済みアイテムの復元」</a> を参照してください。
	ボルトから削除	選択アイテムをボルトから削除します。 <a href="#">p.16 の「アーカイブ済みアイテムの削除」</a> を参照してください。
	ボルトの検索	利用可能なボルト内のアーカイブ済みアイテムを検索します。 <a href="#">p.17 の「アーカイブ済みアイテムの検索」</a> を参照してください。
—	ログイン	Microsoft Exchange Server と通信するユーザーのログイン資格情報を送信できます。
—	Enterprise Vault の環境設定	Enterprise Vault ツールバーの環境設定を設定できます。 <a href="#">p.17 の「Enterprise Vault のカスタマイズ」</a> を参照してください。
—	Enterprise Vault ヘルプトピック	Enterprise Vault のヘルプを表示します。
—	Enterprise Vault について	Enterprise Vault のバージョン情報を表示します。



# Enterprise Vault でアーカイブするアイテムを選択する方法

Enterprise Vault では、メールボックスからアーカイブするアイテムが次の方法のいずれか、または両方で選択されます。

- アイテムの経過日数によるアーカイブ。Enterprise Vault では、指定した経過日数に達するとアイテムが自動的にアーカイブされます。  
メールメッセージの経過日数は、送信または受信した日からカウントされます。文書の経過日数は、最後に更新された日付から取得されます。
- メールボックスのサイズを限度内に保つアーカイブ。メールボックスに一定の割合の空き容量が確保されるまで、Enterprise Vault によってアイテムが古い順にメールボックスにアーカイブされます。

これらの戦略の両方を適用すると、Enterprise Vault は、まず経過日数によりアイテムをアーカイブします。経過日数に基づくアーカイブでメールボックスに十分な空き領域が確保されない場合、Enterprise Vault は、必要な領域の割合が確保されるまでアイテムをさらにアーカイブします。

経過日数によるアーカイブとメールボックスのサイズの限度の割合によるアーカイブは、アーカイブするアイテムを選択するための主要な戦略です。Enterprise Vault によってサイズの大きいアイテムからアーカイブされるように管理者が設定している場合もあります。これは、比較的少数のアイテムをアーカイブするのみでメールボックスの空き容量を回復できるという点で便利です。

管理者はアーカイブ戦略を制御する設定をロックして、ユーザーがこの設定を変更できないようにできます。

## アーカイブ済みアイテムの保持について

Enterprise Vault では、アイテムをアーカイブするときに、保持カテゴリを自動的にアイテムに割り当てます。保持カテゴリでは、アイテムの保持期間を指定します。たとえば、管理者は Enterprise Vault がアイテムをアーカイブした日から 5 年間の保持期間を指定できます。または、2021 年 12 月 31 日など、特定の日付を期限にした保持期間を指定したり、アイテムを永続的に保持することを指定することもできます。

Enterprise Vault は、保持期間が終了したときにボルト内のアイテムを削除します。

管理者は、業務または法務などの各種のデータに対してさまざまな保持カテゴリを設定できます。

Enterprise Vault 検索を使用して、特定の保持カテゴリを指定しているボルトでアイテムを検索できます。管理者による Enterprise Vault の設定方法によっては、ボルトにアイテムを手動で格納するときにアイテムに割り当てる保持カテゴリを選択できる場合があります。


す。Enterprise Vault 検索を使用して、ボルト内のアイテムに割り当てられている保持カテゴリを変更できる場合もあります。

## Enterprise Vault のログイン詳細の入力

Enterprise Vault ツールバーとアプリケーションメニューの機能を使う前に、Enterprise Vault にログインする必要がある場合があります。

### Enterprise Vault のログイン詳細を入力する方法

- 1 Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで、[ログイン]を選択します。
- 2 [アカウント情報]ダイアログボックスに Microsoft Exchange アカウントのログイン資格情報を入力します。



Microsoft Exchange アカウントを設定した方法によっては、このダイアログボックスの一部のフィールドに、Enterprise Vault が電子メールクライアントから取得した情報が含まれることがあります。

- 3 Mac OS X キーチェーンにパスワードを保存するかどうかを選択します。

Enterprise Vault ツールバーが Exchange Server に接続するときに、キーチェーンによってパスワードが指定されるため、毎回パスワードを入力する必要がなくなります。

- 4 [OK]をクリックします。

# Enterprise Vault ログインパスワードの表示と修正

Enterprise Vault に最初にログインするときに Mac OS X キーチェーンにパスワードを保存するように選択すると、後でキーチェーンアクセスアプリケーションを使ってパスワードを表示して変更できます。

**Enterprise Vault ログインパスワードを表示して変更するには**

- 1 キーチェーンアクセスを開きます。
- 2 キーチェーンが非表示の場合は、[表示]メニューで[キーチェーンを表示]を選択します。
- 3 Enterprise Vault キーチェーンをダブルクリックします。

- 4 [パスワードの表示]をクリックし、求められたらキーチェーンのパスワードを入力します。

**Enterprise Vault** ログインパスワードが[パスワードの表示]フィールドに表示されます。

**Enterprise Vault** はパスワードを次のように XML 形式で格納します。

```
<EnterpriseVault>
  <Domain>domain_name</Domain>
  <UserId>user_id</UserId>
  <Password>password</Password>
</EnterpriseVault>
```

- 5 必要に応じてパスワードを修正し、[変更内容を保存]をクリックします。

## Outlook for Mac で類似フォルダをグループ化した場合に **Enterprise Vault** クライアントの動作に与える影響

**Outlook** では、必要な数だけ電子メールアカウントを設定でき、デフォルトではすべてのアカウントの受信トレイがフォルダー一覧で 1 つの見出しの下にグループ化されます。[下書き]、[送信済みアイテム]、[削除済みアイテム]、[迷惑メール]フォルダも統合されま

す。この機能により、すべてのメッセージを一度に簡単に読むことができますが、Enterprise Vault クライアントの動作に次のように影響します。

- グループ化された空のフォルダまたはアイテムを選択していないグループ化されたフォルダで作業している場合、Enterprise Vault にログインすることができません。ログインする前にフォルダで少なくとも 1 つのアイテムを選択する必要があります。
- グループ化されたフォルダで作業中に、Enterprise Vault クライアントのツールバーの各ボタンは利用可能であるように表示されます。Enterprise Vault にこれからログインする場合や、ツールバーの特定のボタンを非表示にするように管理者が Enterprise Vault を設定している場合であっても同様です。
- グループ化されたフォルダをアーカイブすることはできません。

この動作によって何らかの問題が生じる場合は、電子メールアカウントごとに別々のフォルダを表示することを推奨します。

#### アカウントごとに別々のフォルダを表示する方法

- 1 [Outlook]メニューの[環境設定]をクリックします。
- 2 [個人設定]の[全般]をクリックします。
- 3 [フォルダー一覧]で[受信トレイなど、異なるアカウントの類似するフォルダをグループ化する]のチェックマークをはずします。



# Veritas Enterprise Vault の 使用

この章では以下の項目について説明しています。

- [もとの形式でのアーカイブ済みアイテムの表示](#)
- [アーカイブ済みアイテムへの返信またはアーカイブ済みアイテムの転送](#)
- [アイテムとフォルダの手動アーカイブについて](#)
- [ショートカットからのアーカイブ済みアイテムの復元](#)
- [アーカイブ済みアイテムの削除](#)
- [アーカイブ済みアイテムの検索](#)
- [Enterprise Vault のカスタマイズ](#)
- [メールボックスルールを設定した Enterprise Vault ショートカットの管理](#)
- [Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのアンインストール](#)

## もとの形式でのアーカイブ済みアイテムの表示

Enterprise Vault では、アイテムをアーカイブするときに、ショートカットをメールボックスに残しておくことができます。ショートカットは、ボルト内のアーカイブ済みアイテムへの直接リンクです。もとの形式でアーカイブ済みアイテムを取得して開くには、次の手順を実行します。この手順では、もとのアイテムはメールボックスに復元されません。

### もとの形式でアーカイブ済みアイテムを表示する方法

- 1 表示するアイテムを選択します。
- 2 Enterprise Vault ツールバーまたはアプリケーションメニューで、[表示]をクリックします。  
アイテムをすぐに利用できない場合は、代わりにショートカットの内容が Enterprise Vault に表示されます。ここで、メールボックスにアイテムを復元することを選択できます。

## アーカイブ済みアイテムへの返信またはアーカイブ済みアイテムの転送

アーカイブ済みアイテムへの返信またはアーカイブ済みアイテムの転送を行うには、Enterprise Vault ツールバーまたはアプリケーションメニューの機能を使います。電子メールクライアントの標準の[返信]ボタンと[転送]ボタンをクリックすると、元のアイテムが取り込まれて開く代わりに、アーカイブ済みアイテムのショートカットが開きます。

メールボックスで複数のアイテムを選択するときに Enterprise Vault の[返信]、[全員に返信]、[転送]機能には次の制限があります。

- [返信]および[全員に返信]機能は利用できません。これらの機能を使用するには、アイテムを 1 つのみ選択する必要があります。
- Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューの[転送]コマンドは利用できません。ツールバーの[転送]ボタンは利用できますが、[添付ファイルとして転送]オプションと同じ機能が実行されます。

### アーカイブ済みアイテムの返信または転送方法

- 1 返信または転送したいアイテムを選択します。
- 2 Enterprise Vault ツールバーまたはアプリケーションメニューで、適切なオプションをクリックします。



返信

選択アイテムの送信者に返信できます。



全員に返信

選択アイテムの送信者とすべての受信者に返信できます。



転送

選択アイテムを 1 人以上の受信者に転送できます。転送アイテムには元のアイテムとともに受信した添付ファイルが含まれます。

—

添付ファイルとして転送

選択アイテムを添付ファイルとする新しい電子メールメッセージを作成できます。

## アイテムとフォルダの手動アーカイブについて

Enterprise Vault はバックグラウンドで自動アーカイブを実行するため、ユーザーが操作する必要はありませんが、手動でアイテムをアーカイブする必要がある場合があります。この操作を実行できるのは、管理者がそれを許可するように Enterprise Vault を設定している場合です。

### アイテムおよびフォルダを手動でアーカイブする方法

- 1 アーカイブする 1 つ以上のアイテムまたはフォルダを選択します。  
メールボックス全体をアーカイブすることはできません。
- 2 ツールバーの[格納]をクリックするか、Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで[ボルトに格納]を選択します。
- 3 フォルダをアーカイブする場合は、そのサブフォルダもアーカイブするかどうかを選択します。

## ショートカットからのアーカイブ済みアイテムの復元

アイテムは、Enterprise Vault ツールバーの[表示]ボタンをクリックすることで簡単に開くことができるため、通常、メールボックスに復元する必要はありません。アイテムを復元すると、そのアイテムはもとの形式で復元されます。たとえば、復元したアイテムが電子メールメッセージの場合は、通常どおりに返信もできます。

Enterprise Vault では、オフラインで格納されているアイテムを復元する場合、時間がかかる場合があります。

復元するアイテムのショートカットがない場合は、Enterprise Vault Search の機能を使ってアイテムを検索して復元します。

### ショートカットからアーカイブ済みアイテムを復元する方法

- 1 メールボックスで、復元するアイテムへのショートカットを選択します。  
電子メールクライアントでの通常の機能を使って、1 つまたは複数のショートカットを選択します。ショートカットでないアイテムを含めることもできますが、Enterprise Vault ではこのようなアイテムは無視されます。
- 2 ツールバーの[復元]をクリックするか、Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで[ボルトから復元]を選択します。

## アーカイブ済みアイテムの削除

Enterprise Vault 管理者から、ボルト内のアイテムを削除する権限が付与されている場合、削除にはいくつかの方法があります。Enterprise Vault search アプリケーションからアーカイブ済みアイテムを削除することもできます。



### ショートカットを使ってアーカイブ済みアイテムを削除する方法

- 1 削除するアーカイブ済みアイテムへのショートカットを選択します。  
ショートカット以外の任意のアイテムを含めることができます。Enterprise Vault ではこれらのアイテムは無視されます。
- 2 ツールバーの[削除]をクリックするか、Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで[ボルトから削除]を選択します。
- 3 [はい]をクリックして、ショートカットとアーカイブ済みアイテムの両方を削除することを確認します。

### ショートカットから開いたアイテムを削除する方法

- 1 アイテムを開いたウィンドウのツールバーで[削除]をクリックします。
- 2 [はい]をクリックして、アイテムを削除することを確認します。
- 3 ショートカットのみを削除するか、ショートカットとアーカイブ済みアイテムの両方を削除するかを選択します。  
ショートカットのみを削除した場合は、後でアイテムを検索して取得することができます。

## アーカイブ済みアイテムの検索

アーカイブ済みアイテムへの Enterprise Vault ショートカットがある場合は、そのショートカットを使って簡単にアイテムを表示したり復元したりすることができます。ただし、ショートカットを使っていない場合は、Enterprise Vault の検索機能を使って、アイテムを検索して開くことができます。

### アーカイブ済みアイテムを検索する方法

- 1 ツールバーの[検索]をクリックするか、Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで[ボルトの検索]を選択します。
- 2 ログオンの詳細を確認するメッセージが表示されたら、情報を入力して[OK]をクリックします。  
ログオンダイアログボックスに独立した[ドメイン]フィールドが存在しない場合は、ユーザー名を `domain_name¥user_name` の形式で入力します。
- 3 検索基準を入力してから、検索を開始します。

## Enterprise Vault のカスタマイズ

ツールバーの横方向または縦方向を変更し、テキストラベルを非表示にすることによって、Enterprise Vault ツールバーの外観をカスタマイズできます。メニューバーに

Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューを表示させるかどうかなど、Enterprise Vault のユーザー設定を設定することもできます。

### Enterprise Vault ツールバーの外観をカスタマイズする方法

- 1 Enterprise Vault ツールバーの右上にある[設定値]アイコンをクリックします。



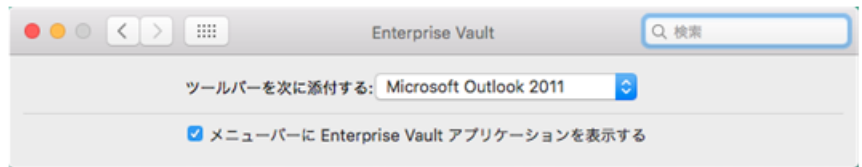
- 2 ツールバーの方向を横または縦に設定し、ツールバーにテキストラベルを表示するかどうかを選択します。



- 3 [OK]をクリックします。

### Enterprise Vault のユーザー設定を設定する方法

- 1 Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューで、[Enterprise Vault の設定]を選択します。



- 2 [ツールバーを次に添付する]フィールドで、Enterprise Vault ツールバーに関連付ける電子メールクライアントを選択します。
- 3 [メニューバーに Enterprise Vault アプリケーションを表示する]にチェックマークを付けるかはずします。

Enterprise Vault クライアントアプリケーションメニューを非表示にすることを選択した場合も、アップルメニューで[システム環境設定]、[Enterprise Vault]の順に選択して、後で復元できます。

# メールボックスルールを設定した Enterprise Vault ショートカットの管理

メールボックスの電子メールメッセージのリストでは、Enterprise Vault ショートカットが、アーカイブされていないメッセージのように表示されます。ショートカットには、区別しやすくするための特別なアイコンやその他の識別用の機能がありません。そのため、メッセージがアーカイブされたかどうかを判断するには、メッセージを開くか、またはメッセージのプレビューを表示する必要があります。

メールボックスルールを設定することによって、メッセージリストで識別しやすい方法でショートカットを管理できます。たとえば、Enterprise Vault によってアーカイブされた各メッセージに対して、色分けしたカテゴリを適用するようにクライアントに指示できます。これにより、電子メールメッセージがショートカットまたはアーカイブされていないメッセージのどちらであるかが一目でわかります。

次の手順の実行方法について詳しくは電子メールクライアントに付属のマニュアルを参照してください。

---

**メモ:** これらのステップは、既存のショートカットに色分けを適用しますが、Enterprise Vault がまだ作成していないショートカットには適用しません。最新のショートカットを色分けする手順の最後のステップを定期的に繰り返してください。

---

## メールボックスルールを設定してショートカットに色分けを適用する方法

- 1 [ホーム]タブの[分類]をクリックしてから、[新規追加]をクリックします。
- 2 たとえば「アーカイブ済み」という名前のカテゴリを作成し、そのカテゴリに関連付ける色を選択します。
- 3 [ツール]メニューで、[ルール]をクリックします。
- 4 [Exchange]オプションをクリックします。

- 5 新しいルールを追加するにはオプションをクリックします。  
[ルールの編集]ダイアログボックスが表示されます。

- 6 次の特徴があるルールを設定します。

この条件が満たされている場合 ショートカットのバナーのメッセージ本文には、通常、「このメッセージがアーカイブされました。」というテキストが含まれます。

次の操作を行います。 手順 2 で作成したカテゴリにメッセージカテゴリを設定します。

- 7 メッセージリストのすべてのアイテムを選択します。
- 8 [メッセージ]メニューの[ルール]をポイントし、[適用]をクリックしてからルールの名前をクリックします。

## Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントのアンインストール

今後 Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントを使わない場合は、アンインストールできます。

### Mac OS X 用 Enterprise Vault クライアントをアンインストールする方法

- 1 Finder で、次のフォルダを参照します。

/Library/Application Support/Enterprise Vault

- 2 UnInstaller.app アプリケーションを実行します。
- 3 キーチェーンアクセスを開きます。

- 4 キーチェーンが非表示になっている場合は、[表示]、[キーチェーンを表示]の順に選択します。
- 5 Enterprise Vault アイテムを削除します。